日本中国語学会第 72 回全国大会プログラム

2022 年 11 月 5 日（土)、6 日（日）　富山大学（オンライン）

Ⅰ．前日　　11 月 4 日（金）
16:00～18:00　　理事会（Zoom）

Ⅱ．第 1 日　　11 月 5 日（土）
10:15～11:45　　評議会（Zoom）

学会奨励賞授与
※ 今年度の学会奨励賞受賞論文はウェブサイト上で発表します。

13:00～15:25　　招待講演（Zoom）

司会　富山大学　福田　翔

1. 从语料分析的角度看学习者的母语类型与汉语的习得
東京外国語大学　望月　圭子
2. 文法研究から文法教育への貢献――数量名詞句をめぐる構文横断的研究を例として――
大阪大学　古川　裕

15:35～17:35　　ワークショップ（Zoom）

文法教育の現場から考える教育文法の課題

司会	神奈川大学	鈴木　慶夏
「表現形式の構成」と「表現形式の選択」	神奈川大学	鈴木　慶夏
中国語教育文法における主題（化）の位置づけ	大阪大学	中田　聡美
日本語教育文法の観点から見た主題（化）	神戸女学院大学	建石　始
中国語教育文法における「存現文」の位置づけ	大阪大学	張　恒悦
中国語教育文法における様態補語の位置づけ	明治学院大学	西　香織

※ 講演、ワークショップの聴講に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

夕方以降～11 月 13 日まで　　総会

※ 総会は学会ウェブサイトを利用した「見なし総会」の形式で実施します。
11 月 5 日（土）評議会終了後に総会資料と Slack ワークスペースの URL 情報を学会ウェブサイトに掲載します。11 月 6 日（日）～13 日（日）の期間中、総会用 Slack ワークスペースにおいてご質問やご意見を受け付けます。

Ⅲ．第２日　　11 月 6 日（日）

9:30～11:10　　分科会研究発表　午前の部（Zoom）

11:20～12:10　　ポスターセッション（oVice）

12:10～13:00　　休憩

13:00～16:30　　分科会研究発表　午後の部（Zoom）

※ 分科会、ポスターセッションの聴講に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

●ポスターセッション　11:20～12:10（oVice）

中国語における再帰動詞と“给”構文について　　名古屋大学（院）　張　雨

※ 発表当日の追加資料配布は認めません。

※ 発表者は所定の時間内にセッション会場から退出することはできません。

●分科会研究発表

■第 1 会場

13:00～14:40（Zoom：Room1-2）　　司会　大谷大学　浦山あゆみ

中古止攝重紐唇音字演變特徵初探　　近畿大学、立命館大学（非）　季　鈞菲

兩部滿人所著官話文獻中的反切改良比較　　國立中正大學　曾　若涵

《正音撮要》正俗音所反映的清末北京官話文白異讀【有講評】　　國立中正大學（院）　薛　沛瑩

■第 2 会場

9:30～11:10（Zoom：Room2-1）　　司会　東京都立大学　飯田　真紀

莆仙方言的动词重叠　　神戸市外国语大学（院）　陈　鸿

闽东福清方言中的领属结构　　神戸市外国语大学（研究員）　陈　学雄

闽东区苍南方言中所发生三种链移音变　　愛媛大学　秋谷　裕幸

13:00～14:40（Zoom：Room2-2）　　司会　東京大学　吉川　雅之

十九世紀末聖經中的海南閩語——詞彙議題　　國立成功大學　李　惠琦

臺灣海陸客語短時體標記「a^{33}lə^{33} 啊仔」的來源　　中央大学　遠藤　雅裕

臺灣客語瀕危現況及臺灣客語語料庫介紹　　國立政治大學（研究員）　葉　秋杏

國立政治大學　賴　惠玲

14:50～16:30（Zoom：Room2-2）　　司会　神戸市外国語大学　濱田　武志

荆州方言中“哒”与“啦”的研究　　神戸市外国语大学（院）　刘　凌霄

吴语瓯江方言“想”“要”“想要”的语义功能及语义图研究　　武汉理工大学　杨　海峰

University of Göttingen（院）　曹　思诗

武汉理工大学　陶　玲

情态助动词“好”的方言分布【有講評】　　上海外国语大学　王　晓华

■第 3 会場

9:30～11:10（Zoom：Room3-1）　司会　大阪大学　王　周明

先秦漢語“主之謂”結構中“之”的功能──以語篇分析為主

北海学園大学　楊　安娜

先秦汉语“也”的主观化标记功能　高崎経済大学（非）　喜島　千晴

上古中国語の指示詞「夫」の機能とその発展　東京大学（院）　市原　靖久

14:50～15:55（Zoom：Room3-2）　司会　関西大学　奥村佳代子

介詞「向」的來源與歷時演變探究【有講評】　國立臺灣師範大學　王　錦慧

清代满汉合璧教材中的“给”字句考察　神戸市外国語大学（院）　李　云

ロシア語対訳版『官話指南』の版本系統と言語的特徴　神戸市外国語大学（院）　萩原　亮

■第 4 会場

9:30～11:10（Zoom：Room4-1）　司会　奈良女子大学　前田真砂美

“把”構文の受影性について　山形大学（非）　呉　蘭

意志表現“愿意”の分析──事態実現の望ましさを中心に　岡山大学　石井　友美

汉日语经历体标记的语义语法对比研究──以“过”与「～たことがある」的非对应关系为中心【有講評】　暨南大学、大阪大学（研究員）　陳　瑩

13:00～14:40（Zoom：Room4-2）　司会　筑波大学　佐々木勲人

现代汉语“了”本质性语法功能分析【有講評】　北九州市立大学（院）　靳　卉芝

アスペクト論の観点から見る“時間表現＋就＋VP＋le2”の成立要因

東京大学　毛　興華

語気助詞“了”と「言語主体位相の叙述」──動詞述語文を中心に

拓殖大学　浅井　澄民

14:50～16:30（Zoom：Room4-2）　司会　岐阜大学　橋本永貢子

现代汉语“就是”的转折功能考察　神戸市外国语大学（院）　张　茜

“都”、“全”、“也”与疑问代词连用的诸问题　大东文化大学　胡　杰

“小李他们”の意味特徴および構造のメカニズム【有講評】

東京大学（院）　島　健太

■第 5 会場

9:30～11:10（Zoom：Room5-1）　司会　京都外国語大学　島村　典子

日本語母語学習者による移動動詞〈來〉と〈過來〉の習得：認知言語学的視点から

國立臺灣師範大學（他）　魏　吟玲

日本語母語話者による中国語結果補語〈-到〉の習得と学習者の母語の類型【有講評】

東京外国語大学（院）　劉　秋文

東京外国語大学　望月　圭子

从认知视角看“上”“起来”以及“下来”“下去”表达的“持续”情状【有講評】

関西学院大学　王　棋

13:00～14:05（Zoom：Room5-2）　司会　富山大学　福田　翔

可能補語“V 得/不 C”の意味機能と成立条件　東京大学（院）　郭　嘉瑋

“VA 了”结构能否成为关系从句的影响因素分析【有講評】

名古屋大学（院）　刘　士泽

14:50～15:55（Zoom：Room5-2）　司会　名古屋大学　盧　建

試談中文和日文之非典型‘什麼’及抱怨語氣　國立清華大學（院）　石田　智裕

國立清華大學　蔡　維天

“果因型”状中结构的认知理据与表述功能考察　神戸市外国语大学（院）　张　闻

汉语换言标记的功能分析：评价性换言标记与非评价性换言标记

名古屋大学（院）　龐　龍傑

※ 1 発表あたりの持ち時間は、発表 20 分、質疑応答 10 分です。【有講評】の場合は発表 15 分、講評 3 分、回答 7 分、質疑応答 5 分となります。

※ 各発表の間に 5 分間の休憩を設定してあります。次の発表者の準備のためにも必要ですので、定時進行にご協力をお願いします。

※ 発表当日の追加資料配付は認めません。

●分科会研究発表タイムスケジュール

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場
Zoom	—	Room2-1	Room3-1	Room4-1	Room5-1
司会	—	**飯田真紀**	**王周明**	**前田真砂美**	**島村典子**
9:30～10:00	—	陈鸿	楊安娜	呉蘭	魏吟玲
10:05～10:35	—	陈学雄	喜島千晴	石井友美	劉秋文
10:40～11:10	—	秋谷裕幸	市原靖久	陳瑩	王棋
11:20～12:10	ポスターセッション（oVice）				
12:10～13:00	昼食・休憩				
Zoom	Room1-2	Room2-2	Room3-2	Room4-2	Room5-2
司会	**浦山あゆみ**	**吉川雅之**	—	**佐々木勲人**	**福田翔**
13:00～13:30	季鈞菲	李惠琦	—	靳卉芝	郭嘉瑋
13:35～14:05	曾若涵	遠藤雅裕	—	毛興華	刘士泽
14:10～14:40	薛沛瑩	葉秋杏	—	浅井澄民	
司会	—	**濱田武志**	**奥村佳代子**	**橋本永貢子**	**盧建**
14:50～15:20	—	刘凌霄	王錦慧	張茜	石田智裕
15:25～15:55	—	楊海峰	李云	胡杰	张闻
16:00～16:30	—	王晓华	萩原亮	島健太	龐龍傑

※ 共同発表の場合は筆頭発表者のみを表示しています。

●書店展示

招待講演、ワークショップのそれぞれ開始前および休憩時間に動画を配信します（Zoom の画面共有によるリアルタイム配信)。また、オンラインイベントツール「oVice」を利用してバーチャル書店展示を行います。

書店展示コアタイム（各社、下記の時間帯は担当者が在室しています)

（50 音順）	5 日（土）	6 日（日）
朝日出版社	12:30～13:00	12:00～13:00
アスク出版	11:30～13:30	11:30～13:30
亜東書店	展示のみ	展示のみ
金星堂	11:00～13:00	11:00～13:00
高電社	展示のみ	9:00～17:00
好文出版	12:00～14:00	12:00～14:00
三修社	11:30～13:00	12:00～13:00
駿河台出版社	未定	12:00～15:00
同学社	12:00～13:00	展示のみ
東方書店東京	10:00～16:00	10:00～16:00
白水社	12:00～13:00	12:00～13:00
白帝社	11:40-13:30、17:00-18:00	11:10-13:00、16:30-17:00

●oVice 会場

oVice 会場は、ポスターセッション、書店展示が行われるほか、参加者同士の自由な交流の場としてもご利用いただけます。出入りは自由です。5 日（土)、6 日（日）のお好きな時間にご利用ください。

oVice の使い方については、学会ウェブサイトの「参加者マニュアル」をご覧ください。

※ oVice 入室に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

●参加方法

今年度の大会への参加は会員のみに限定し、参加費は徴収いたしません。
参加に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

※ 講演、ワークショップ、分科会研究発表の Zoom ミーティングは、いずれも定員 300 名です。また、oVice の最大接続人数は 200 名です。あらかじめご承知おきください。